

# 花まるたより

2025  
105

Hanamaru  
Monthly  
Newsletter



2025年5月

## 自由研究コンテストはじめます

毎年話題にのぼることの多い東京大学大学院での式辞や祝辞ですが、本年の大学院入学式における平地健吾数理科学研究科長の式辞が注目を集めました。アカデミックでの研究生活の厳しさと、それがゆえの深い喜びを説く内容です。彼が専門とする数学の世界では、才能は若くから芽が出るものだと天性の力がないと勝負できないとかかと思われがちである。しかし、プリンストン大学のホ・ジュニ教授のエピソードが「反証」します。彼は小学生の頃、算数の成績が悪く「自分には数学の才能がない」と思い込んでいたのです。詩人を目指して高校を中退までしました。しかしその後、ソウル大学に入学し、サイエンスライターを目指して天文学と物理学を学びます。大学院在学中の24歳のときにサイエンスライターとして広中平祐先生の代数幾何の講義を取材してから、数学の魅力に取りつかれます。そして2年後には数学の論文を書き修士号を獲得。とはいえまだ注目されるレベルではなかった。しかし13年後の2022年、彼は韓国系の数学者としては初めてのフィールズ賞を受賞するのです。幼い頃、若い頃に思い込んだ自己像はコンプレックスを克服すれば、いかに広々と

た未来が待っているかを教えてくれます。

また、数学なんて天才たちの活躍の場と思われがちであるけれども、ここでも経験に裏打ちされた事例を提供します。実際に彼が接した同時代の天才である、チャールズ・フェファーマン教授（14歳でメリーランド大学入学、15歳で最初の論文執筆、22歳でシカゴ大学の正教授となり、24歳でプリンストン大学の教授就任、29歳でフィールズ賞受賞）と共同研究した経験に触れ、彼ですら「悪魔とのチェスの対戦」をするような苦しく長い戦いをしていたことを教えてくれます。また、特別な才能で悪魔とのチェスの戦いをする英雄のような研究者も確かに必要だが、自分のように丹念に問題の周辺を探検する数学者にも重要な役割があるのだと説きます。そして、倦まず弛まず、自分のペースを大切に、探求心を持ち続け研究に取り組むことの大切さや、「壁は行き詰まり」は在るものであり、それは大きな試練だけでも同時におもしろさの源や醍醐味であることなどを語っています。

で基礎研究などの研究生活に賭けるのは、かっこよいなということです。私ですら若い頃にこれを聴いたり読んだりしたら、その道を選んでいたかもしれないなとまで感じますから、現在瑞々しい感性を持つ学生たちは、一層深い感動を味わい研究生活への希望を感じたでしょう。

さて、今回のテーマは「研究」です。上述の例に示されるように、本格的に人生の主軸として研究を選択することは、充実と誇りを感じられる素晴らしいことでしょう。国家としての基礎研究の停滞を嘆く意見が多いいま、このような当事者からのメッセージは社会全体に叱咤とインパクトを与えるとも思います。そういう意味でも研究の価値を再認識したところなのですが、この数年、まったく別件でもその重みを感じるのです。

何度か書いている「コテンラジオ」ですが、中心の深井龍之介さんは、いま、一般企業のなかにも人文知の研究機関を持つことを推奨し、その支援を始めています。先駆的で慧眼であり、すごいなと思います。生き馬の目を抜くような厳しいビジネ

一読して感じるのは、一度きりの人生

一読して感じるのは、一度きりの人生

### 新刊情報

『1日1ページで頭がよくなる！  
もっとまいにち知育クイズ366』



高濱 正伸 監修  
(日本図書センター)

ベストセラー『まいにち知育クイズ366』の第2弾！  
どうぶつ・しよくぶつ・たべもの・ぎょうじなどに、新たなジャンル「あんぜん」「おさほう」「かず・かたち」「おかね」が加わりパワーアップしました。子どもの好奇心を刺激する全20ジャンル・366問を掲載。楽しみながらクイズを解くことで、好奇心・語彙力・集中力・数的感覚・探求心など、「まなびの土台」となるさまざまな力が育ちます。

『脱「学校」論  
誰も取り残されない教育をつくる』



白井 智子 著  
(PLANETS/ 第二次惑星開発委員会)

産業革命期に英国で誕生した「全員に同時に同じことを授業として教える」という小中学校の在り方が、AIなどの発達する現代に機能不全なシステムであることは、大量の不登校の発生などで誰もが感じている。本書は、長年フリースクールや引きこもりの教育相談などに体当たりで行動し思考してきた著者による、具体的な提案の書。誰も取り残されない教育というきれいに聞こえそうなテーマに真正面から解答を示す。

高濱の本棚

スの世界では、一般企業にも真のオリジナリティと哲学、それを支える深いレベルでの探求心とビジョンがないと生き残れませぬ。ビジネスのノウハウのようなことも大事ですが、個人と同様に法人も「まずお前は何をしたのか、どんなビジョンを持っている何者なのか」というアイデンティティが問われる時代であり、研究への真摯な姿勢の有無は、長期的な生死すら決めるとも感じます。

2月号コラム  
『自由研究』



また2月号で書いたように、教育の世界でも自由研究や探求が注目されて数年経ちます。そこにある良さの本質は、何かレアで特別な知識を知っているオタク性というよりも、「自分の興味関心にしたがつて、日々いつも考え続けグルグル回転している頭の状態」が望ましくて、それを支えるものとして研究・探求が大事だということですね。血肉になる思考力を磨く手立てとも言い換えられるでしょう。

これらのことを並べてみると、いろいろな角度から「子どもたちに研究させよ。研究の大事さを伝えよ」という天の声が聞こえてくるようです。

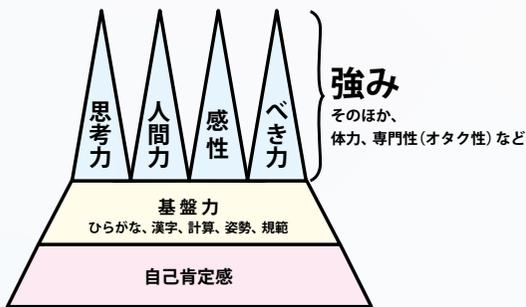
花まる学習会は、計算の反復作業を繰り返させるような幼児教育しかない時代に、「いやいや、コンピュータのCPUのような基本性能としての『思考力』こそが大事でしょう」ということで、なぞペーをひっつけてスタートしました。これはこれで「Think Think」などの潮流になり、いまも価値を増すばかりです。一方で、大学入試の合格や社会人としての必要要件を見定めると、「やるべきことをやる力」も、思考力と双璧を成すくらい重要な力であり、それには「漢字をモシなくやれるか(漢字力)」「毎日決まった時間に宿題をこなせるか(習慣化)」などが大事だとわかり、花まる漢字テストをスタートし、あさがお・サボテンの日々の宿題化を始めました。

さらに、それ以上にどの分野に進むにせよ「心の柔軟さ・強さ」が長期的にもっとも大事であると見定めて、心が躍動しつつも人と人のさまざまな問題に直面しながら心を鍛えるサマースクールの設計として「友人申し込みなし」の制度を始めたり、直接子どもたちに伝える場として六年生対象の「卒業記念講演会」を始めたりしました。そして、それら教育環境の最大のものとしての「親環境」を整える意味で、各教室長と保護者との細かいコミュニケーション、毎月のコラムや私からの講演会での働きかけなどをおこなってきました。

今回そこに、新しい力を伸ばす場を作ろうと決めました。そして、詳しくは後日書きますが、やる気のある子たち向けに「作問コンテスト」も開催したいと思います。自由研究コンテストと作問コンテストの詳細は、花まるだより6月号にてお知らせする予定です。

家での時間が、本当に意義深く子どもたちの頭の良さや魅力が増すものになるよう、保護者のみなさまが花まる学習会にわが子を入れたことをますます喜んでいただけるように、私たちも努力していきたいと思えます。ふるってご参加ください。

花まる学習会 高濱正伸



## 花まるだより 2025年5月号

(令和7年5月15日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう  
花まる学習会  
発行人 高濱正伸  
企画・編集 久慈 菜津紀  
編集 金井 彩・清田 奈甫  
坂田 翔・高橋 奈穂  
デザイン 春日 梨沙・西野 奈布子  
印刷 アークランド株式会社

全国の花まる教室長、約150人をまるっと一年かけて高濱が直接インタビュー！ 高濱による他已紹介「タカタコ」で、みなさんの教室長を紹介します。今年のテーマは、「私の極み」！ 本気で挑んだこと、情熱をもって取り組んだことから、教室長一人ひとりを深掘りしちゃいます。サマースクールや雪国スクールで会ったリーダーたちも探してみてくださいね！





こんげっ

# 今月のレインボータイム

しろいっしょく  
【白一色】

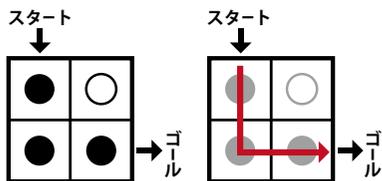
スタートからゴールまですすみ、すべてのマスをしるに○にします。  
 マスを通ると、○→●、●→○に変わります。  
 できるだけ短い道でゴールまで進みましょう。  
 同じ道をくり返し通ることができますが、  
 ななめには進めません。



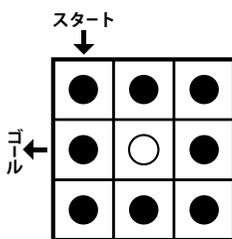
QRコード  
読み取り

出題：水口 玲 (花まる学習会)  
(しえふ)

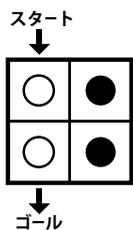
## れい



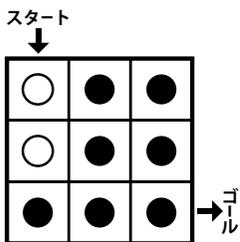
## レベル5



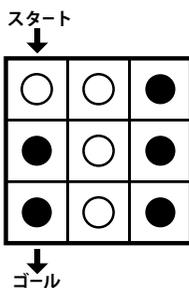
## レベル10



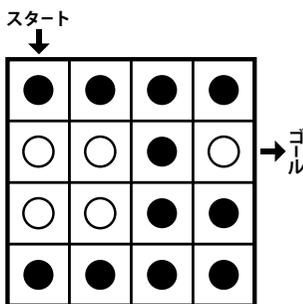
## レベル20



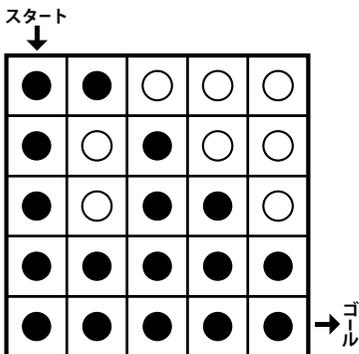
## レベル50



## レベル70



## レベル90





# 花まるの夏が始まるよ！ サマースクール 写真館



## 花まる卒業生にインタビュー！



### 清水 聡子さん

花まる学習会：小3～小6、花まる中等部：中1～中3  
花まる野外体験の参加回数：14回

花まるの野外体験に参加して、はじめての人も人見知りしないで話せるようになりました。もともとはほとんど話さなくて。まったく知らないリーダーや子どもたちのなかに放り込まれて（笑）、仲良くならざるをえないんです。放り込まれたことで、諦めということが決心がつかましたね。お母さんのうしろにびったり隠れているような子どももだっただけで、めちゃくちゃ話す人になりました。野外だと、全然違う私になる。花まる野外のおかげで、教室やほかの場所でもあまり人見知りをしなくなりました！



### 北見 開さん

花まるアルゴ：小1～小6、スクールFC：小1～小3  
花まる野外体験の参加回数：13回

小1から小6まで夏・冬で参加しました。小学校のときは旅行などあまり行かなかったから、花まるの野外体験が夏休みや冬休みのメインイベント！ いろいろなリーダーにも会えたり、そのときのときの思い出があります。長期休みの一大イベントとして楽しみにしていました。印象に残っているのは、小5のときにもったMVP。そのときはめちゃくちゃうれしかったです！ 理由は覚えていないのですが（笑）。小2くらいときには、高学年がたくさんいる班で学んだこともありました。「あ、これは言っちゃいけないだな」とか、花まるの野外体験を通して、コミュニケーション能力が培われたと感じています。



### ひとり風呂

タオルを頭のにせまして、  
ひとりで風呂に入ります。  
海を眺めておきますと、  
生きた心地がいたします。



### 直火料理

島でとれたカキをそのまま網にのせ、醤油をひとつらし。  
飯盒で炊いたごはんに合わせて、最高の無人島料理のできあがり。  
スーパーにはありません。

# 無人島ノート

花まる子ども冒険島のいま

これまでの開拓の歴史とたくさんの思い出が詰まった花まる子ども冒険島。島での様子を記録した写真を花まるだよりでもお届けします。



### 無人島へ向かう

だんだんと迫ってくる無人島。  
だんだんと膨らんでいく期待。  
待ちわびていた島は、横たわった恐竜のよう。



### 荷物運び

パケツリレーで荷物を運ぶ。  
ツアーじゃないし、バカンスでもない。  
自分のものは自分で運ぶ。



### 開拓中

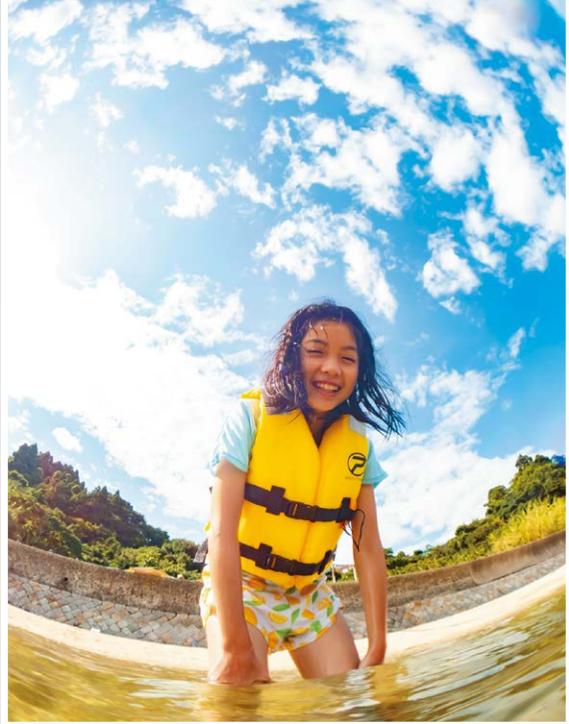
ダンチクの刈り取り。  
テントを張る場所も、自分たちで開拓するのが花まる流。  
ノコギリやスコップを手に用地を広げます。  
自分たちが使うため？ いえ、後輩が使うため。

無人島の  
最新情報は  
こちら！





**モノマネコンテスト**  
カワハギのマネで盛り上がる二人。  
生活のなかの何気ない一ページ。  
「初めまして」から、少しずつ仲が深  
まっていく。



**海と空の間**

海と空の間にいることが、  
海と空の間にきてわかる。



**イヤー**  
カキに初挑戦。  
いい顔しています。これも体験して  
初めてわかること。つまりは勉強。

**焚き火と星空**

見上げると星空が広がっている。  
焚き火しかない明るさのなかで、星を見上げる。  
火のゆらめき。星のまたたき。



**飯盒炊飯**  
飯盒と薪で自分のメシを炊く。  
ボタン一つで炊き上がる世界から抜け出して、  
本来の私たちを知る。  
ゴーグルは煙除け。  
たまに飯盒に水を入れるのを忘れていました。



**焚き火と哲学**

火を見つめて、もの思いにふける。  
仲間と話すこと。自分と話すこと。

特に予定がない休みの日は、家のなかでゴロゴロしてばかり。外遊びをしたり、勉強したり、もう少し有意義な時間を過ごしてほしいのに！

ある日の井戸端会議  
時間の使い方

うちは、予定がある日ものんびり。余裕をもって準備してほしいのに、全然その気がなくてイライラしちゃう！

》 パッションがこたえます！

「大人と子どもの時間の感覚は違うのです！

まずは「子どもの時間の感覚」を  
のぞいてみましょう」



相澤 樹(パッション)

保護者から寄せられる相談で多いもの一つに「子どもたちの時間の使い方方のルーズさ」があります。おもしろいことに、スケジュールが詰まっていると時間の使い方の問題は起きにくいのですが、自由に使える時間が多いと途端にルーズになりがちです。それに対して、保護者としては「それでいいのか」と不安になることでしょう。

私自身、子どもが生まれた頃は「早くしなさい」と言わない子育てを目指していたはずなのに、だんだんしているわが子を見ているとイライラしてつい言ってしまします。先日、朝、「早くしなさい」を夫婦で何回言っているか数えたら、学校に出発するまでに23回も言っていました。

共働き世帯が増えた昨今、帰宅してから子どもを寝かしつけるまでの間は、かなりあわただしく過ごされているご家庭が多いのではないかと思います。限られた時間のなかでテキパキと動いてほしいと、親としては願うものです。

それに対して、幼児期の子どもたちは未熟を先読みして行動するということがまだ上手にできません。さまざまな経験や失敗を通して、少しずつ時間通りに行動することの重要性を学んでいきます。

たとえば、友達との待ち合わせに遅刻したとき。約束を守って時間通りに到着しているのに無駄な時間を過ごさなければいけ

ない友達が、どういう気持ちで待っているのか。待たせた相手から厳しく叱責される「時間を守らなければ」という気づきを得られることもあるでしょう。そういうストーリーの当事者になったときにはじめて「時間」について考えられるようになるのです。そこから、「いつまでになにを準備しておくべきなのか」と逆算の思考が生まれ、工夫できるようにしていきます。

さて、幼児期の子どもの行動を観察していると、意味のない時間を過ごしているように見えることがたくさんあるでしょう。やるべきことをしっかり終えたあとの自由な時間だとしても、何かに夢中になって遊んでいる姿を見ると、「もっと意味のある時間の使い方をしてほしい」と思うのは親の性です。

では、親として思う、意味のある時間というのは何でしょうか。

本を読むこと？ ドリルを進めること？ おそらく「自分の身になり役に立つスキルを習得する時間」を意味のある時間として設定しがちです。

しかし、実は何かに夢中になったり没頭したりしている時間にこそ幼児期に伸びる、重要な力が隠されているのです。

それが「集中力」です。

ただ「なにか」に没頭し、時間を費やしているかというところが極めて重要なポイント

ントです。

集中力には良いものと悪いものがあるという視点を持てると、子どもたちの過ごし方を見る目が変わってきます。

少し詳しく説明しましょう。子どもたちがなにかに集中しているときには多くの場合「対象物」があるはずですが、その対象物から強い刺激がバンバン出され、黙っていても「集中させられてしまう」状態が悪いもの。一方で、対象物から刺激はほとんど出しておらず、対象物に対して自ら集中力を高めるような没頭をしているときは良質な集中力を磨いている時間です。

濃い味つけの料理を食べ続けていると薄味の食べ物も味わいにくくなりますよね。集中力においても同様のことが起こっているのです。

つまり、限りある時間をより効果的に効率的に使えるようになるためには、良質な集中力と切り離せないのです。仕事ができる人の行動をよく見ていると、圧倒的な集中力で時間をぎゅっと凝縮して片づけてしまい、余暇を取ることに長けていることがよくわかります。

段取りを立てる未来への予測は、予定やタスクが増えるとおのずと身についていきます。時期としては忙しくなる高学年時期頃からでしょう。

## 「バツション」のあすす曲！

幼児期のうちは「やる気を出す」までの準備時間がすごくかかるもの。それを待たなくて大人は瞬間的にイラッとしてしまいがちです。「子どもたちのやる気を引き出す」ことを大事にしている花まる学習会では、「やる気に満ちて自分でやりたくなっちゃう」ように導くのが私たちの仕事ですから、「やる気」をベースにこの本を書きました。

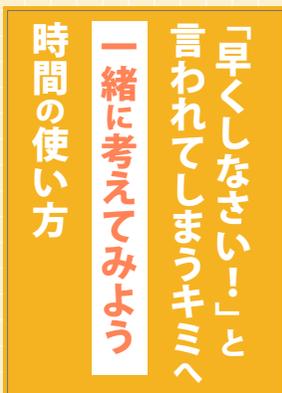
ただ、この質の良い集中力は、幼児期の日常の、特に遊びのなかで育まれるということを中心に留めていただけると、子どもたちの時間の使い方や少しだけ寛容に見られるようになると思います。

花まる学習会 相澤樹

お互いに気持ちよく過ごすために  
親子で相互理解を！



『花まる学習会式  
12才までに身につけたい  
時間の使い方』  
花まる学習会 著  
(日本能率協会マネジメントセンター)



### 📢 時間を上手に使える人は、こんな人!

- 01 「やるべきことをいつまでに終わらせるのか」という計画を最初にしっかり立てる
- 02 そのために「いまなにをすべきか」がわかる
- 03 「いまやる!」と決めたことを集中してやりきる



# 今どっしりしてる？

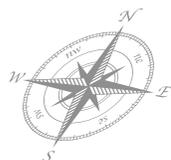
## 卒業生物語

ようこそ先輩!!



仲野 瑠子さん

【花まる学習会】三鷹教室 (小4～6)  
\*担当教室長：林拓郎 ほか  
【進路】公立中学校→都立西高等学校→フェリスカレッジ  
→ケンブリッジ大学→東京大学 大学院  
【現在】大学院生 (農学生命科学研究科)



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫ります。  
第28弾は、海外へ留学してさまざまな経験を積んだ、  
伝説の卒業生にインタビュー!!

崎・熊本の回で原爆資料館に行ったのが印象深いです。残酷な部分にも向き合った、はじめての経験でした。

高 小学生だと衝撃も大きいけれど、逃げずに吸収したんだね。

仲 授業では、算数大会や思考実験大会などの特別授業が思い出深いです。学年混合のチームで私は年上だったので、姉貴みたいな立ち位置でした。  
高 みんなに信頼されていたんだな。

### ■イギリスでの学び

高 大学まで出られる奨学金なんて、相当優秀でないともらえないよ。学業をおろそかにせず、自学の力をしっかりつけて中学・高校へ進んだんだね。イギリスでは何を学んだの？

仲 ケンブリッジ大学の自然科学科で植物科学を学び、麦を使った研究結果を卒業論文にまとめました。

高 おお。

仲 マメ科の植物は根粒菌と共生することで窒素を供給してもらい栄養源にするのですが、ほかの植物にはその性質がありません。穀物が同じように成長できれば、大気汚染の原因にもなる窒素肥料に依存しない栽培が可能になると期待されているんです。

そこで、マメ科植物の遺伝子の一部を麦に導入する実験をしました。

高 食糧問題にも環境問題にもかかわるおもしろいテーマだね。そしていまは東大の大学院で農学を学び続けていると。

仲 日本の大学に飛び込んでみて、イギリスとの違いも実感しています。イギリスの大学受験はそれほど難しくないので、本気で学ばないと授業についていけないし、その成績が就職に大きく影響します。だから高校時代に自分が学びたいことは何かを真剣に考えるし、その分野で成果を出さないといけない。一方で日本は受験の負担が大きく、入学後はあまり努力せずに単位を取ってしまうことも…。海外の制度のよい部分を取り入れて、努力して入った大学でさらに熱意をもって研究できるようにするのいいなと思います。

高 意識高く臨まないといけない時間を無駄にしないということもある、日本の大学教育の問題点の一つだね。

### ■これからのこと

仲 実は私、二足の草鞋を履いて活躍するパイオニアを目指したいんです。研究者として食糧生産の課題に貢献したいのと、もう一つは……歌手です。

高 歌手!?

仲 小さい頃から歌うのが好きで、修学旅行で高濱先生に褒めていただいた自信がきっかけです。いま「Caroline Godwin」という名でYouTubeチャンネルを開設し、歌声を発信しはじめたところです。

高 (YouTubeで歌声を聴いて) うわあ、ものすごくうまいね。実力という意味では申し分ないよ。あとはプロデューサー次第かも…。

仲 嬉しいです! 研究は手を抜かずに続けたいので、活動の方向性を模索中です。

高 ノーベル賞とグラミー賞、目指そうよ。楽しみだなあ。応援しています!

仲 ありがとうございます!

キャロラインゴッドウィン Caroline Godwin の歌声はこちら!



高校時代のエピソードなど、  
続きはこちら!



こころと頭を同時に伸ばす  
幼児期の子育て

# Rinコラム

68

創作に  
目的はいらない

## 「何も考えずにつくりました」の価値

ある小学校の一年生のクラスでのこと。「作者に質問があります！」と手を挙げた子がいました。「どんな気持ちでつくったんですか？」

「なんと素敵な質問です。」すると、その作品の作者である子どもは、まっすぐな目でこう答えました。「何も考えず、思ったままにつくりました」——その言葉に驚いた様子もなく、クラスの子どもたちはそのまま受け止めていました。

大人は、作品や行動に「目的」や「意図」を求めがちです。そのため、こうした発言に驚く先生方もいます。しかし、子どもたちと作品の鑑賞会をしていると、「何も考えずにつくりました」という言葉は意外とよく聞かれるものです。

## 表現は、言葉を越えた「対話」

表現することは、内なる自分との対話です。作品をつくるのは、何か意味を持たせるためでも、将来役に立つからでもありません。

言葉をうまく操る大人とは違い、子どもたちはまだ自分の未分化な感情を整理し、表現する術を持ちません。だからこそ、言葉以外の表現手段を持つことは、とても有効なのです。

一緒に何かをつくることで、子どもたちは

心の葛藤を形にしていきます。描くこと、つくることは、言葉に頼らずとも内面を表現し、確実に何かを浄化していくのです。

## 創作が心を癒すとき

ある高学年の男の子が、病気で愛犬を亡くしました。アトリエを休んでいた彼に、私は自分が愛犬を亡くしたときにつくった歌をおくりました。

それ以来、彼は愛犬のために作品をつくり続けるようになったのです。

あるときは、愛犬の遺骨の前に作品を飾り、また別のときは、愛犬の似顔絵と名前を入れたモビールをつくりました。新年には、命日や散骨の日を書き込んだカレンダーを制作。そして2月の創作では、「受験勉強の」疲れをすべて忘れる！「ぼくの一番好きなのは、(愛犬の)優しい目」と言いながら、愛犬そのものを題材にした作品を完成させました。

また、感情のコントロールがうまくできないことに悩んでいたお母さんが、アトリエに参加したあと、娘のかいた絵日記を見せてくれたことがありました。

そこには、クラスで制作した作品の絵とともに、こんな言葉が添えられていました。

「こんなものができてるか考えてなかったです。ただ、楽しかったです。」

## 「意味のあること」だけが大切なのか？

現代のような不確実な世界では、「将来何が役に立つか」だけを考えて準備するという昔ながらの思考は、もはや意味をなさなくなりつつあります。

「何の意味があるのか」と追求するよりも、

「なんだかわからないけれどもしるい」と感じる直感に従う力こそ、偶然のもたらす大きな飛躍を生むのではないのでしょうか。そして、その力は、創作や遊びのなかにこそ息づいているのです。

Rin

### Rin (井岡 由実)

アートのとびら主宰。児童精神科医との協働を経て、2004年花まる学習会取組役に就任。創作活動や幼児の感性教育をテーマにワークショップを展開。教育と芸術を融合させた実践を続け、『こころと頭を同時に伸ばす AI時代の子育て』(実務教育出版)を出版。小学校・保育園などで非認知能力を引き出す指導者の育成にも取り組んでいる。

## Atelier for KIDs



お申し込みはこちら!



6/22(日) 10:30~12:00 切り紙ハトメてくるくるアート

【対面クラス】

対象 年長~中学生

定員 30名(予定) (お茶の水花まるラウンジにて)

参加費 1名3,850円(税込)

申込期間 5/9(金)11:00~6/4(水)19:00

<https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>

## おうちアトリエコース

素材セットとおたよりがご自宅に届き、「Rinせんせいがつくってみたよ動画」を見て、お好きなタイミングで制作をします。

Zoom(授業日の午後)またはLINE公式アカウントのやりとりにて、鑑賞会も行います。

詳しくはHPをご覧ください。

参加費:1名3,300円(送料・税込)

申込期間:5/9(金)11:00~6/4(水)19:00

全国から参加可能!

## 今月のARTレシエ 「くさばなを織る」Nature ART

今月のおうちARTは、自然のくさばなを素材に使ったARTです。くさばなを織るように、描くように、楽しんでつくってみたいよ。ネイチャーアートはほかにもいくつか動画があるよ。みんなも楽しんでつくってみてね。ほかにもアイデアがあったら、Rin先生に教えてね。

<https://youtu.be/Jq4DEF1xFfa?si=AY4EjnyYg-JRu60H>



Rinせんせいがつくってみたよ!



つくりかたを動画で見てみよう

### じゅんぴりするもの

・くさばな ・ダンボール ・わごむ



みんなのおうちART作品を待っています!  
・レシエ部門  
・じゅう部門

Rinせんせいに  
おくってみよう!





花まる教室長がお届けする  
子育て奮闘記

## 花まるリビング

46

勝谷里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、小5・小3・年少の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか



### ☆マーク

年少の次女が、文字に興味を持ちはじめました。名前に「さ」が入っているのですが、『さ』『せ』『けるよー』と見せてくれたのが、こちら。



「お！ なかなか上手に書いている！」親の欲目が出てきます。「もっと書きたいー！」と言ってくれるのいいことに、いろいろな文字を書かせてみました。



しかし、「た」「く」「あたりになってくると、つい（こ）は、はねないよ」（こ）は、ちがうよ」と「正しい文字に」直したくなる親心がムクムクと……。そんなときふと思いついたのが、先日次女とのやりとりです。

私が、小三長男のプリント採点で「☆」マークをつけていたとき、次女が驚愕の表情で「ママ、いま、なにやった!？」と尋ねてきました。



(この形です)

どうやら、一筆書きで星マークが描けることにびっくりしたようで、「もう一回、もう一回

やってよー」と何度もせがまれました。これぐらいのことでも……といったら語弊があるかもしれませんが、大人にとっては当たり前なことでも、次女にとっては魔法のような出来事だったのでしよう。

この出来事をふまえて考えてみると、次女はいまはきっと「正しく書くこと」を欲しているのではなく、「文字を形として楽しむこと」に心惹かれているのかもしれないと気づきました。ならば、いまは、正しく書く練習をするのではなく、「ここ、くねっとしているね」「ここが重なっているね」などの発見を親子で楽しむだけで十分。文字のドリルを購入しようと思き出そうとしていた手を、そっと止めました。あぶない、あぶない。

子どもが何かができるようになるのはとても嬉しいのが親心。何かの萌芽があると、すぐにどんどん水や肥料を与えて、ぐんぐん伸ばしたくなってしまうことは多いと思うのですが、そんなに急がなくてもいい。

Aーには代替できない「思考力」や「創造力」が重視される時代です。その土台となるのは、子どもたちの「好奇心」や「好き」という気持ち。「好き」と躍動する心を描んでしまふことなく、子どもたちの幼少期の貴重な瞬間を見守って、こころ、と改めて思った出来事でした。

花まる学習会 勝谷里美



『すうがくでせikaiをみるの』  
ミゲル・タンコ 作  
福本友美子 訳  
(ほるぶ出版)

世界をみる方法は、いくつもある——数学が大好きな主人公が、「好きなこと」を通して、自分なりの世界の見方を見つける絵本。第68回青少年読書感想文全国コンクール、1・2年生課題図書。好きの大切さ、数学という世界の美しさ、どちらにも感動できる一冊です。



『松丸亮吾氏 × 高濱正伸  
ワクワク学ぶ地頭力の育て方  
～「好き!」のパワーが子どもを伸ばす～』

<https://hanamaru-college.com/vidoeetails.php?id=1222>



幼少の頃から謎解きクリエイターである現在の松丸氏につながる「好き!」を育てる親の伴走方法や、松丸氏が考える「これからの教育」についてなどを、ご自身の体験談もふまえてお話いただきました。また、高濱からは、お子さまの「好き!」を伸ばす声かけ方法や、楽しくワクワク「学ぶ」ヒントをお届けします。幼少の頃に熱中できるものを見つけるためにできることなど、いままぐ役立つ子育てのヒントがいっぱいの対談です。

### 花まる 子育てカレッジ



子育ての専門家による  
講演会動画配信サイト

子育てや教育に関する  
専門家の講演・トークを配信!



※花まるグループ会員のみならず、花まるグループの会員IDとパスワードでログインすると、無料でご視聴いただけます(一部の部門・コースの方は対象外です)。





## 次女、突然〇〇になると言い出す！

ファイヤーの自由研究③

長女が生まれてから3年後、次女が生まれました。外で頑張りすぎて家で爆発するタイプで、小学四年生くらいでは毎日右と左のおさげの位置が違うと言って妻とバトルをしていました。ときどき私が髪をセットすることがあり、妻の大変さを痛感した経験もいまでは良い思い出です。

長女と違い、次女を叱ったことがありません。思春期という難しい時期ですが、我が家で大切にしていることを守れなかったことで、温厚な私が3回叱りました。

1回目は、小学校低学年。長女に意地悪をして度が過ぎたとき。

2回目は、小学校高学年。ゲームのルールを守らなかったとき。

3回目は、中学生時代。買ったばかりの携帯電話を投げたとき。

外で頑張っているから、家ではわがままを多少は許していました。宿題やテストも手を抜くことなくやり、厳しいバスケットボール部の部活動も、土日も休むことなく練習に参加しているなかでのことなので、親としても許してあげたい気持ちはありませんが、やはり「基準」をぶらすと次女のためにならないということで心を鬼にして叱りました。

以前のコラムでも書かせていただきましたが、一番家族のことを考え、皆を楽しませようとしている次女の姿を見ると、子育ては間違っていないかと思えます。

文武両道の次女は、昔から「幼稚園の先生が学校の先生になりたい」と言っていました。妻がずっと幼稚園教諭をしていることもあり、子どもとかわかることに興味を持っていたのだと思います。私も、次女は教育の道に進むのだと思っています。

しかし中学三年生の頃、突然「私は足袋屋になる！」と言い出しました。あまりにも突然のことで、私は「ほー」としか言えません。その背景にはテレビで放送されていた『陸王』というテレビドラマの影響がありました。どんな困難にも負けず、皆で頑張って道を切り拓いていく展開に心を奪われたのだと思います。

ます。私も毎週日曜日に一緒に観て、一緒に涙を流していました(笑)。

高校生になり、進路を決めるときに改めて次女に聞きました。

「将来は足袋屋になるか？」  
次女は笑いながら「迷っている」と答えました。

それからコロナウイルスと戦う日々が続き、闘病していた妻のお父さんのお見舞いにも行けなくなりました。そしてはじめて直面した身近な人の「死」。お義父さんが他界してから次女の口数が少なくなりました。何かを深く考えている時間が増えたと感じていました。

そして進路を決める時期、改めて次女に「進路はどうする？」と聞きました。次女は吹っ切れたように「看護師になる！」と答えました。私以上に妻がびっくりしていました。『コード・ブルー』などのテレビドラマの影響だと思っていましたが、理由はほかにありました。お義父さんが亡くなったときにずっと寄り添ってくれた看護師さんの影響でした。

命を預かる現場でたくさんの人に優しく接している看護師さんみたくになりたいと思ったそうです。患者さんだけでなく、その家族に寄り添える看護師になるのが夢で、大学も自分で決め、毎日勉強をし、希望する大学に見事入ることがで

きました。泣きながら深夜レポートを作成している姿、試験勉強を連日している姿を見守ってきました。そして、この4月から大学四年生です。

「足袋屋になりたい」から、「看護師になる」まであと少しです。親としてできることはもうあまりありません。心配がないと言ったら嘘になりますが、自分の道を次女らしく歩んでほしいと願っています。看護師という大変な仕事を選択し、頑張っている次女を世界でだれよりも応援してあげたいと思います。

次回は娘の幼少期を思い出して「長女初めての家出はどこに行った？」をお届けします。

花まる学習会 箕浦健治



～見てみよう、「よのなか」の  
バックヤード～



『すごいゴミのはなし  
ゴミ清掃員、10年間  
やってみた。』

滝沢秀一文  
スケラッコ 絵  
萩原まお 絵  
(Gakken)

滅多に言いませんが……これはすべての人が「いますぐに」読むべき一冊です！「ごみ清掃芸人」として活躍する著者が、多彩なエピソードを時にユーモラスに語りながら「日本のゴミの未来」を綴ったルポ。「毎日こんなゴミが出ているなんて……」「いずれゴミの行き場がなくなる、どうすれば……」「さて、自分には何ができるかな？」と、きつと思えるはず。



『しごとへの道1  
パン職人 新幹線運転士 研究者』

鈴木のりたけ 著  
(ブロンズ新社)

「しごとへの道は、一つじゃない！」はつばい以来絶大な支持を集める絵本『しごととば』シリーズが、中学年以上向けのコミックとなって登場。第1巻ではパン職人、新幹線運転士、研究者が取り上げられていて、彼らとその仕事を選ぶに至ったきっかけ、人生を変えた言葉や出会いなどが魅力たっぷりに描かれます。親子で読むと、さまざまな会話が生まれること請け合いです。



『ゼロから0へ』

まはら三桃 著  
(ポプラ社)

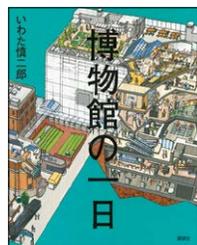
日本初の新幹線0系をつくったのは、戦時中に零戦の開発に携わっていた技術者たちだった。「命を奪う乗り物ではなく、平和を運ぶ夢の乗り物を一！」2024年に開業60周年を迎えた新幹線の、知られざる開発のドラマを描いた感動の物語。次に乗る際は、是非この物語にも描かれた技術者たちの万感の思いを想像しながら。2021年に合不合判定テストの読解問題で出題されたことも話題に。



『見学しよう工事現場1  
タワー』

溝淵利明 監修  
(ほるぷ出版)

昨今話題のインフラツーリズム（生活の基盤となっている公共土木施設の観光）を知るにはうってつけのシリーズ。第1巻「タワー」では、東京スカイツリーとあべのハルカスの、一般の人はなかなか見ることのできない工事現場の様子が豊富な写真とともに紹介されています。つづくシリーズはトンネル、ダム、橋、線路など。



『博物館の一日』

いわた 慎二郎 作・絵  
(講談社)

上野の国立科学博物館のバックヤードを、徹底した取材で描いた読み応えたっぷりの絵本。数々の展示物のほか、はく製の作り方、売店、レストラン、ガイド役のボランティアさんたちなど、描かれているものや人がとにかく多彩。博物館を見る目が変わる一冊です。つづくシリーズは『ロケット発射場の一日』『野球場の一日』など。



花まるの  
榎原 悠司  
(リポ)

# 花まるの こうご

どうしても強くなれますか？

桜のつぼみが膨らむ頃、2年前まで担当していた生徒のお母さまからメールが届きました。

六年生の息子はいいに花まるを卒業です。低学年の頃から何度かいじめに遭いましたが、あのときの先生の「あの言葉」がＴと私を強くしました。

年長〜四年生の5年間担当したＴさんは、心優しい長男。そんな彼が何度かいじめに遭いました。

最初は二年生のとき。ある日の授業後、帰らずにもじもじしているＴさんの姿が目に入りました。「ほら、自分で言いなさい！」と母親に背中を押された彼の口から「鬼ごっこをするとき、自分だけが集中狙いされる……」という言葉が。学校

で友達と楽しく遊べない、そんな孤独感を打ち明けた勇氣ある彼に「あの言葉」を言いました。

「実力で勝てばいい」

「鬼にされるなら、走るのを速くして全員捕まえてやれ！」と続け、教室近くの公園へ彼を連れていき、一緒に走る練習をしました。誰もいないシーンとした公園に街灯がともる頃、「ハー、ハー」と肩で息をする音が響きます。切り上げようとしたとき、「もう一回お願いします！」と必死な表情で、でもどこか楽しそうな顔をして訴えてきました。「まだ大丈夫ですか？」とお母さまに視線を送ると、嬉しそうに頷かれました。このときの彼とお母さまの顔が脳裏に焼きついています。毎週授業後に練習するようになってから2か月が経った頃、「先生！ 今日鬼にされなくなりました！ 速く走れるようになったから捕まらなくなりました！」と教室に着くなり誇らしげに言いに来ました。

それから2年後。ご両親から「集団下校の際に複数人から叩かれたりいやなことを言われたりすることが続いているんです……」と相談がありました。また、このときは明確に本人が自分の意思で私のところへ言葉を届けにきました。「先生、どうしても強くなれますか？」

日曜日に教室へ連れてきてもらいました。「本当は言い返したいけれど……」と伏し目がちのＴさん。

「なんて言い返したい？」

「うん……『なめんじゃねーぞ！』って」

「じゃあ、試しに先生に向かって言ってみようよ」

すると、にやけ顔から何とも気の抜けた「なめんじゃねーぞ……」が。そこで、まづ鏡を見て睨み顔をつくることからスタート。それができたら、その顔で「なめんじゃねーぞ！」と。何度も何度も繰り返し、一時間後、随分と様になっていました。ただ、その週は「なかなかできない……」と踏み出せずにいました。

この状況を最後に変えたのは、お父さまの言葉でした。朝、下を向いて出ていく彼に向けて「Ｔ、お父さんはいつでもＴの味方だからな！」と言ったそうです。Ｔさんはそれを聞いて学校へ。「一人じゃないんだ」そう思えた彼はついに殻を破りました。その週の授業後、「先生！」と嬉しそうに駆け寄ってきます。「先生！ 『なめんじゃねーぞ！』って言い返せました！ そしたら、相手が最後は『ごめん……今度ゲーム貸してあげるから一緒に遊ぼう』ってすり寄ってきた！」

さて、冒頭のメールの最後にこうありました。

花まるの最後の授業で後輩たちにスピーチをしたのですが、Ｔが「僕が花まるで得たことは生きる力です」と言っていました。本当に感謝しております。

「どうしても強くなれますか？」

言葉だけで答えるならば、愛情と実力、それを抛りどころとできる状態になること。そうなれたことが「得たことは生きる力」という言葉になったと思っています。

花まる学習会 榎原悠司



花まるの  
教室長を  
紹介します!

# Hanamaru Family 花まるファミリー

…オンライン

アルコ …アルゴクラブ

FC …スクールFC

…ART

…むぎくみ

…アノネ音楽教室

みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに!



あいざわ めぐみ  
相澤 めぐみ

埼玉 埼玉県



いわた かえ  
岩田 佳恵

東京東 滋賀県



うすき ようじ  
臼杵 遥志

千葉 福岡県



うらおか みどり  
浦岡 翠

神奈川南 高知県



おおたか しゅう  
大鷹 翔

神奈川南 愛知県



くじな つき  
久慈 菜津紀

東京東 岩手県



さかきばら ゆうし  
榊原 悠司

東京東 愛知県



すなが しゅうへい  
須永 修平

埼玉 アルコ 群馬県



たておか さとみ  
館岡 聡美

東京西 秋田県



た な か り よ う こ  
田中 涼子

埼玉 埼玉県



はなおか ひろや  
花岡 宏哉

埼玉 FC 埼玉県



よしだ  
吉田 いつむ

東京西 三重県



たかはま まさふみ  
高濱 正伸

熊本市 出身地

……リーダーネーム

……名前

……所属

……出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね!

5月の誕生花は **すずらん**

こ存じ「山の女」です。滋賀県での小学生時代には、子どもだけで山に登って「琵琶湖が見える!」と言いながら秘密基地を作って遊んでいました。大学時代のワンダーフォーゲル部で白馬山に出合ったとき、魂を奪われました。いつか「山教育」を構築するのが夢なので、訓練はコツコツ続けています。東京にいなから8,000 m登山の経験をしようと、400 mの高尾山を36時間で22往復したりしています。正気です。|| 岩田がんちゃん住居

